

若者たちの活動レポート



10.14 Mon
フルーツ飴作り

のげ青緑日で好評だった「フルーツ飴」が食べたいとの声に応え、「フルーツ飴作り」を行いました。2種類のぶどうを使い、飴を適温に保って作業を行うため、スピードと流れ作業のチームワークが求められました。みんなの協力のおかげで美味しいフルーツ飴が完成しました♡



11.30 Sat
ベーゴマ大会

ベーゴマが得意な小中学生が参加し、試合前にみんなで練習試合を行い、楽しい時間を過ごしました。本番では参加者みんな、優勝を勝ち取る勢いで挑んでおり、負けて悔し涙を流す子もいました。とても盛り上がる大会で、企画した小学生は早速次のベーゴマ大会をいつにするか考えていました！



12.7 Sat
ミニクリスマスツリー作り

クリスマスが近づいてきたので本物の植物を使ったミニクリスマスツリー作りを行いました！植物をツリーの形になるように組み合わせ、リボンやビーズ、モールなどで飾りつけを行い、立派な作品が出来上がりました。みんな、「家の玄関に飾るんだ！」と大事に持って帰っていました☆



畑プログラムでは、キャベツ・カリフラワー・大根・にんじん・玉ねぎ・葉ごぼうなどを植えました。春先に植えたハーブが順調に育ち、そのハーブを使ったブーケガルコと軒下に干していたにんにくを入れ、みんなでカレーを調理しました。ハーブの香り高く上品なカレーができました。また大きく育ったレモングラスを手分けして収穫し、洗って干した後、近隣の施設へハーブの無料配布に行きました。どの作業も協力しながら和やかな雰囲気でした！



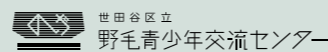
穴掘りモグラ

4階層になっている一番上の盤上に配置した自分のモグラコマを上手く穴まで移動させていきます。全プレイヤーのモグラの移動が完了したらゲーム盤を取り除くと、穴に入れたモグラだけが生き残れます。こうして3回戦行っていくと、最後の階に入れるのは1匹のモグラだけ。そのモグラが勝利の証し「ゴールデンシャベル」をゲットできます。



チョコチップクッキー

中学生の職場体験で「チョコチップクッキー」を作りました。料理もお菓子も作ったことがない彼らでしたが、初めて作ったクッキーを参加者が「美味しい、美味しい！」と言いながら食べているのを見て、嬉しそうにしていた表情が印象的でした。



〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-15-19
03-3702-4587 / Fax 03-6809-8739
information@nogesei.com
www.nogesei.com @nogesei_youth



ホームページ フェイスブック X(旧Twitter) インスタグラム



Q 一言お願いします！
A 10月から仲間入りしました、江川です！のげ青には週に1回出現するので、遭遇した人に幸運が訪れるレアキャラを目指していきたいです。のげ青にない日は馬たちと過ごしています。
Q 子どものころの夢は何ですか？
A 『七つの海のティコ』の主人公の七海にあこがれていました。シャチと一緒に泳いでいる姿にあこがれて水泳を習っていました♪
Q のげ青でやってみたい事は？
A ポニーたちをのげ青につれてきて、みんなでぼーっとしたいです。

推しのホドゲ紹介

のげ青の日常を地域へ伝える



2022

1期生 活動スタート！
最初はやりたいことの案出しやボードゲームでの交流からスタート！若者運営委員会の名称を「のげやん」に決めました。

ラウンジで勉強会

ラウンジを活用したいというメンバーからの希望で勉強会を実施！みんなでおしゃべりしつつ楽しく勉強しました！



のげ青フェスティバルのチラシ配布
近隣の小中学校にチラシ配布へ行きました！母校へ訪問したメンバーも貴重な体験になりました！

若者運営委員会「のげやん」の3年間の活動を紹介するよ！

のげやんのあゆみ



2023

2期生 活動スタート！
継続メンバーに加えて新しく中学生と大学生が参加！2023年はどんな活動になるかな！？



のげ青フェスティバルの運営

のげ青フェスではチラシ作成からブースの運営まで行い大活躍！1期生の活動を締めくくる節目のイベントとなりました！



New漫画棚設置！

期間限定の館内アンケートを実施。要望が多く集まったマンガを買うことに！新しい本棚も作りました！

のげ青緑日でブース出店

初めての緑日では「焼きそば」のブースを出店！暑い日に熱い鉄板の上でHOTな焼きそばを作って販売しました！



宿泊プログラム

2023年度は夏休みの活動として宿泊プログラムを実施。焼きそばを作ったりTRPGをしたり、楽しい時間を過ごしてみんなでの交流を深めました！

宿泊&緑日ブース出店

夏の宿泊ではみんなでのげ青緑日に向けてゲームの準備をしました！緑日当日は大盛況でたくさんの人が遊んでくれました！

2024

3期生 活動スタート！

活動についての話し合いでは館外での活動が大きなポイントに！みんなでおしゃべりしながら準備を進めていきました！



いけせい青年文化祭

今年は館外活動でゆう杉並といけせいに行きました！いけせいの青年文化祭では、みんながコンホールゲームのブースを運営しました！ゆう杉の詳細は中面をチェック！



1階 飲食会議進行

のげやん司会進行のもと、1階での食事解禁について、良い点や課題点をみんなで話し合っルール作りを行いました！



近況トピックス

9.28 Sat ~ 11. 4 Mon

ヒップホップ体験 & ダンス発表・交流会

11/4(月)に希望丘青少年交流センター「アップス」にて3つの青少年交流センター合同で「ヒップホップ体験&ダンス発表・交流会」が開催されました！今年度はアメリカのダンスカンパニー「BODY VOX」のメンバーをお迎えし、彼らと一緒に踊って交流を楽しんでからのダンス発表会となりました。のげ青『ガールガール7』は、練習回数が少なく、なおかつダンスも高度な振り付けでしたが、参加者それぞれが自宅でも練習を重ね、本番を迎えました。当日は、トップバッターで少し緊張した様子ではありましたが、頑張って踊り切りました！感想を聞くと「楽しかった」とのコメントが多く、爽りの多いヒップホップ体験でした！



中面へ



12.15.Sun のげやんメンバーに！ 本音インタビュー!!

発足から3年経った若者運営委員会「のげやん」。今年度は館外活動やのげ青のルール作りなど多岐にわたる活動に取り組みました。そんな3期生のみなさんに活動を振り返るインタビューを行いました！



Q のげやんに参加しようと思ったのはなぜですか

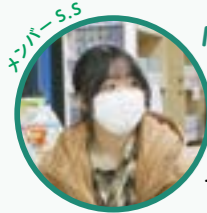
M.K / 職員さんに誘われて参加しました。
S.S / 私は先輩(M.Kさん)に誘われて入りました。
Y.T / そんなS.Sさんに誘われて参加しました。
一同 / 輪が広がってる(笑)

__ S.Iさんは発足当時小学生で参加できなかったから、活動をうらやましそうに見てたよね。

S.I / 見てました(笑)その時に活動を見ていて楽しそうだと思ったので入りました。

Q 運営委員をやっている良かったと感じるのはどんなときですか？

M.K / 「知人」ができたこと。
__ 友達じゃないんだね(笑)
M.K / うーん、なんて言えばいいかわからないんですが、友達でも他人でもない、のげ青でしか会わないけど、会って楽しい存在です。友達が多い方ではないのでありがたいです。
Y.T / 関わる年齢の幅も広がりました。普段大学生の人と話すこともないので。
S.I / 小学生のころからののげ青に来ているんですが、のげやんに入ってから、のげ青内での知り合いが増えて、のげ青にいるときの楽しさレベルが上がりました。



メンバー S.S



メンバー Y.T

Q 皆さんにとってののげ青とはどんな存在だと考えますか？

M.K / 良い散歩先ですね！周りに自然もあって、自習場所としてもちょうどいいです。
S.S / 逃げられるところかな～。
Y.T / わかる。勉強のことを考えなくて済む、現実逃避場所のようなところが強いです。
S.I / “いつもの人”と話せる場所です。のげ青に来れば、いつもの人がいて話したり遊んだりできます。



メンバー S.I

Q のげやんの活動をしていて成長したと感じる点は？

S.I / 年上との接し方が成長したなと思います。
M.K / 対人能力が上がりましたね！あと、チラシのイラストを描いたりポスターを描いたりすることを通して絵がうまくなったかも。
S.S / あまり知らない人でもたくさん話せるようになりました。
Y.T / のげ青でしか会わない人たちだからこそ、成績のことを考えたり気を遣いすぎたりしないで話せますね。学校とは違う関わりだなと思います。



メンバー M.K



10.13.Sun ゆう杉並へ施設見学！

中高生運営委員会や意見箱をどのように運用しているのかを知りたい！ということで、杉並区にある児童青少年センター「ゆう杉並」に施設見学に行ってきました。委員会のみなさんにお話を聞いたり、施設の様子を見学したりしてゆう杉並のことをたくさん知ることができました。のげ青に帰ってきた後は、「のげやんも頑張るぞ！」とみんなで気持ちを高め合いました！

のげやんレポート



10.27.Sun ハロウィンパーティー

毎年恒例の「のげ青ハロウィン」を今年も実施しました！子どもや若者たち、職員やインターン生がみんな本気の仮装をして参加しました。1部では、ちょっと難しい早口言葉を言えたらお菓子をプレゼントしてもらえる「ワードミッション」を実施し、2部では、謎解きのイベントを行いました。謎解きでは、この日初めて会った利用者同士でも、声をかけたりヒントを与えたりなど助け合いながら謎解きをクリアしており、フォトブースでは、たくさんの参加者が仮装をして写真を撮って盛り上がっていました。

プログラムレポート



11.17.Sun 知るほど沼る古着の世界 古着卸の仕事を通して見えてくる世界、 キミも覗いてみたい！

主に海外で買い付けた古着を古物商向けに販売している古着卸をされている方に講師として来ていただき、古着の魅力や買付のお話を伺いました。後半は持参していただいた古着の試着体験をして、初めて古着に触れた高校生も着用しながら「すげえ、これがVintageかあ」「似合っているね～」など友人同士での会話を楽しんでいました。海外での仕事に興味を持っていた若者も、仕事について質問するなど、新しい世界との出会いを楽しむ機会となりました。



高校生 Yさん

敷居が高いと思っていた古着だけど、今日の話や試着を通してハードルが下がった！良い話が聞けた！



ゲスト講師

いのや 伊井谷 勇徳さん
倉庫管理 倉庫マネージャー



いのや 伊知地 亮さん
ボナン日本韓国支社長 / イラスパティシエインストラクター

12.8.Sun 毎年ペンギンとシロクマに 出会いに行く仕事とは

極地(南極・北極)に100回以上行ったガイドの話

クルーズ船の会社「ボナン」の日本韓国支社長である伊知地さんをお呼びして、たくさんの写真や動画を見ながら極地やクルーズについてお話していただきました。「好きなことを続けている内に極地に会って極地が好きになり、ガイドの仕事をするようになった」「仕事は忙しいが、好きなことを仕事にしているから続けられている」と話しており、プログラム後は「極地に行ってみよう」と話す若者やプログラムをきっかけにガイドの仕事に興味を持った高校生がいました。若者の良い刺激になった回でした！



若者 Yさん

貴重なお話を聞いて、とても興味深く面白かったです！

